

平成 20 年度事業報告

(1) 患者と家族のがん研究基金事業

○研究助成支援

① がん患者の生き方支援

支えあう会「α」 事務局長 五十嵐 昭子

② 癌特異抗原ペプチドワクチン療法の標準化を目指した臨床試験

国立がんセンター東病院 臨床開発センター がん治療開発部 機能再生室 中面 哲也

③ Real-time PCR 法を用いた大腸癌における Toll-like receptors (TLRs) 発現の検討

東邦大学医療センター佐倉病院外科 二本柳 康博

④ 乳がんにおける P53 抗体測定の意義

順天堂大学浦安病院・外科准教授 杉山和義

⑤ 悪性神経膠腫罹患患者の生命予後と QOL 維持の両立を目指した、テーラーメイド治療の構築

千葉県がんセンター 脳神経外科 井内 俊彦

⑥ 子宮頸部細胞診における「異型扁平上皮細胞 (ASC)」の特徴と HPV 感染との関連について

千葉県がんセンター 婦人科 田中 尚武

⑦ 卵巣癌に対する千葉大学婦人科の治療戦略

千葉大学医学部 婦人科 加藤 一喜

⑧ ヒトがん細胞におけるミトコンドリア DNA 変異の検出と同変異の転移能に及ぼす影響の検討

千葉県がんセンター研究局 越川 信子

(2) がん医療従事者海外研修支援助成事業

日時 平成 20 年 10 月 2 日～10 日 (日)

場所 プロビデンスホスピタル (アメリカ・ミシガン州デトロイト)

対象 千葉県がんセンター医師、看護師、検査技師、研修医など 11 名

目的 がんその他悪性新生物に関する診断・治療技術に関する教育訓練に対し助成を行い、がん医療の知識。技術水準に向上を図り、高度医療の普及・発展に寄与すること。(詳細は、ホームページ)

(3) 第 2 回千葉がん国際シンポジウムを主催

運営 千葉がん国際シンポジウム実行委員会

共催 千葉県がんセンター 千葉県がん診療連携協議会

後援・共催 (財) 日本対がん協会

日時 平成 20 年 11 月 22 日

場所 ウェルサンピア千葉

参加者 200 人 (外国人招待講演者 4 人)

内容 手術のビデオセッション、分子標的治療、免疫療法の研究発表、患者教育や緩和医療の日米比較など。

(4) 第1回市民公開講座

共催 千葉県がん診療連携協議会

テーマ「あなたのがん医療を考える・探す・選ぶ」

・「患者参加のがん対策」

山崎 晋一郎（千葉県健康福祉部健康づくり支援課長）

・「がんセンターの最新がん医療」

竜 崇正（千葉県がんセンター長）

・「地域拠点病院の取り組み」

木所 昭夫（順天堂大学医学部附属浦安病院がん治療センター長・教授）

柴 光年（国保直営総合病院国保君津中央病院副院長）

亀田 信介（医療法人鉄蕉会亀田総合病院院長）

日時 平成21年1月31日（日）

場所 ホテルプラザ菜の花

対象 一般県民 100人

(5) 平成20年度ピア・サポーター基礎研修会

主催 千葉県 運営 NPO法人医療・福祉ネットワーク千葉

日時 平成21年3月15日、28日、29日（3日間）

場所 千葉県教育会館

受講者 22人

内容

- ・がん患者会、支援団体の取り組みを紹介
- ・がん治療、緩和ケア、うつ、傾聴に関する基礎知識
- ・傾聴のワークショップ
- ・意見交換

(7) ホームページ運営管理

専属の記者を配置し、本法人の開催する公開講座などをリアルタイムで掲載するとともに、チーバくんががん診療連携病院を訪問して各病院の特徴やがん医療への取り組みなどを連載で紹介し、県民に最新の医療情報を提供している。

6 共催・後援

(1) 共催

○千葉県がん患者大集合2008（第一回）

（特別セミナー、講演、会場参加型シンポジウム）

主催 千葉県がん患者大集合実行委員会（がん患者団体、がん体験者）

共催 千葉県、千葉市他

日時 平成 20 年 9 月 14 日（日）

場所 京葉銀行文化プラザ 3 階 音楽ホール

対象 がん患者とその家族、一般県民、保健医療福祉関係者（500 人参加）

目的

・がん患者とその家族が、安心して療養し、納得いく医療を受けられると共に、その人らしく生活を送ることが出来るように必要な支援を受けられる社会実現を目指し、患者の声を集約して関係者に情報発信する。

・がん治療で活用するネット情報についてアンケート調査を実施

○市民公開シンポジウム「安全と医療確保の街づくり」

主催 千葉県の医療を考える会」発起人

NPO 法人 医療福祉ネットワーク千葉理事長 崎山 樹

NPO 法人 千葉医師研修支援ネットワーク理事長 千葉大学長 齋藤 康

など

後援 千葉県、千葉市

日時 平成 21 年 2 月 19 日（木）

場所 ホテルプラザ菜の花 3 階大会議室「菜の花」

対象 医療関係者、一般市民（先着 180 名）

目的 低医療費政策と医師・看護師の流出によって起きている日本の医療崩壊が進む中で、医療施設同士が連携して限られた医療資源を有効に活用するための方策を検討する。医療連携をテーマに千葉の医療を支え、発展させ、県民のいのちを守る方策を探る。

○医療安全研修会

主催 NPO 法人医療・福祉ネットワーク千葉

千葉県がんセンター医療安全管理委員会、医療安全管理室

共催 千葉県がん診療連携協議会

NPO 法人千葉医師研修ネットワーク

千葉県立病院医療安全対策会議

日時 平成 21 年 3 月 5 日（木）

場所 千葉県がんセンター TV 会議室

対象 医療機関の担当職員 100 名（千葉県がんセンター以外の職員も対象）

目的 コンフリクトマネジメントの概念と病院内の様々なコンフリクトを対話によって解決する方法を学ぶ。

（2）後援

○がん予防展（展示、体験コーナー）

主催 千葉県

日時 平成20年9月6～7日 10:00～17:00

場所 ららぽーと TOKYO BAY

対象 一般県民 約3,000人

目的 9月のがん征圧月間に合わせ、展示物による目からのがん予防、乳がんの触診指導、無料相談などによる体験コーナーを通してがん予防の普及啓発を図る。

○ 平成20年度 在宅がん緩和ケアフォーラム

テーマ「がんでも安心して家で暮らせるまちづくり」

(基調講演「いのちの話—あなたを家で看取りたい」、パネルディスカッション)

主催 千葉県、NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワーク ピュア

後援 船橋市、千葉県医師会、千葉県歯科医師会、千葉県看護協会、千葉県社会福祉協議会など

日時 平成21年2月1日(日) 13:00～16:30

場所 船橋市勤労市民センターホール

対象 一般県民、在宅緩和ケアに携わる施設関係者等

目的 在宅がん患者への緩和ケアに携わる者が在宅緩和ケアについての関心と理解を深め、在宅緩和ケアを希望する患者が適切な緩和ケアが受けられる社会づくりの実現に寄与する。

7 広報活動

当法人が主催、共催、後援する事業実施時に参加者にリーフレットを配布するとともに、関係団体、関係機関、関係企業等に対しても入会や支援要請を行った。

また、県民に対し、ホームページ (<http://www.medicalwel.com>) により、最新の行事予定や医療情報を提供した。